

テーマ

**育てよう地域の「輪」・「話」・「和」**

目標

**学習支援・柿渋に学ぶ・環境整備・行事支援**

## 今年度の取組紹介

☆新着任教職員研修会（5月）・・・当校区の活動や地域を知る、コーディネーター交流。

☆柿渋クッキー製作・販売、柿渋染め、植樹・・・今年も保護者と児童や生徒らで、柿渋クッキーを成形、焼き、包装、販売と忙しく活動。特に中学校家庭科クラブ、生徒会との連携、活動の協力。思い思いに描いた柿渋染めの手提げ袋製作。世界遺産全国サミット、交流の集いなどでの柿渋クッキーや柿渋染めの販売を通して、キャリア教育の実地勉強になりました。また、生き生き活動する姿は地域の皆さんにも多くの元気を与えました。奈良県五條市の渋柿「法蓮坊」苗木を二名中学校、二名、青和小学校校庭へ植樹を行いました。

☆学習支援「寺子屋」・・・定着した中学1年生対象の数学支援、夏・冬休みの「宿題助け隊」、中学1年生総合学習古都奈良の通訳ボランティア協力、大学生のサポート。

☆さわやかクリーンデイ実施・・・ボランティア登録の方々や地域の方々在校区のごみ清掃をしながら中学校へ来て頂き、活動の広報と共にかまどベンチ3基で豚汁の炊き出し。防災に対する意識が中学生を中心に広まり、地域の中で活躍できる人材に育ってくれればと願っています。



〈柿渋クッキー作り〉



〈さわやかクリーンデイ〉



〈法蓮坊植樹〉

## 今年度のまとめ

- ・ 新着任教職員研修会
- ・ 柿プロジェクト・・・柿渋クッキー製作・販売、柿渋染め 渋柿「法蓮坊」植樹
- ・ 学習支援プロジェクト・・・中1数学の学力補充 夏・冬休み「宿題助け隊」 英語通訳補助
- ・ さわやかクリーンデイ実施・・・校区清掃作業から『校区を知る、活動を知る』
- ・ かまどベンチ3基で防災意識の向上と豚汁振る舞い

## 来年度に向けて 地域に根を張る活動を

- ・ 新着任教職員へ研修会の充実
- ・ 柿渋プロジェクトのさらなる発展
- ・ 学習支援プロジェクトの進展・・・教科や学年の拡充
- ・ さわやかクリーンデイの定着化

テーマ

**豊かな人間性の育成**

目標

**大きな舞台での発表や職場体験等で、豊かな人間性を育成する。**

## 今年度の取組紹介

## 〈教育環境整備事業〉

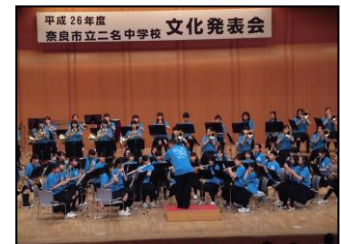
毎年、美しい学習環境を作るために「教育環境整備事業」で花苗の移植を行ってきました。今年度も2年生はベゴニアを初夏に、1年生はパンジーを秋に、それぞれ一人一つのプランターに3株ボランティアの方の協力を得て移植しました。定期的に当番を決めて灌水を行い、成長を楽しみました。美しい花を育て、環境や物を大切にす豊かな心を育てる取組をすすめました。

## 〈仕事の専門家から生き方を学ぶ〉

7月に、実際に現場で活躍されている8名の講師を迎え、働くことのすばらしさや、厳しさを理解し、2学期の職場体験学習に生かすことができるように取り組みました。自分の進路について考えるきっかけをつくり、社会人としての意識や態度を学ぶ機会になりました。

## 〈大舞台体験事業〉

今年も9月19日（金）に文化会館を貸し切り、午前中はクラス対抗の合唱コンクール、午後は各クラブの発表を行いました。多くの保護者や地域の方々の参観を得て、好評のうちに1日を終わりました。ここでは生徒たちに大きな舞台での発表を体験させ、コミュニケーション能力や相手を思いやる豊かな感性を高めることを目的に実施してきました。豊かな人間性の育成のための取組として今後も続けていきます。



〈大舞台体験事業〉

## 今年度のまとめ

- 「仕事の専門家から生き方を学ぶ」ではゲストティチャーとして講演いただき、職場体験学習で実際に仕事に臨むために必要な心構え等を教えていただきました。生徒たちは、普段の教室では学ぶことのできない貴重な時間を得て、自分の進路について深く考えることができました。
- 「教育環境整備事業」では美しい学校を作るために地域ボランティアの方々の協力を得て、花苗の移植を行い、豊かな感性を育てる美しい環境作りを行うことができました。
- 「大舞台体験事業」では日頃の学習の成果を地域の皆さんに公開できました。一つの大きな目標に向かって、クラスみんなで真剣に取り組むことで、多くのことを学ぶことができました。

## 来年度に向けて

- 今までの取組にさらに新しい内容を加えるため、コーディネーターやボランティアの方々と教職員が交流を深め、家庭・学校・地域が一体となって、校区全体で子どもたちを育て、未来を担える人間を育成できるよう、さらに取組を深めたいと思います。

テーマ

## やる気・元気・優しさあふれる青和っ子プラン

目標

学校・家庭・地域が協働して子どもをはぐくみ、地域との絆を深める。

### 今年度の取組紹介

本年度も、確かな学力を身に付けるため、豊かな体験を通して学ぶ授業を重視し、地域の方をゲストティーチャーとして招き、子どもたちの生きる力を育む取組を進めてきました。

学習支援の1つとして、高学年で絵手紙体験学習を行いました。ゲストの先生からの励ましの言葉に、始めはうまく描けなかった子どもたちも自信を持って取り組むことができました。この学習の後、絵手紙を使って礼状作りや新年の抱負カード作りなど体験したことを学習に生かすことができました。

読書の習慣を高め豊かな表現力を育てるための取組では、今年も図書ボランティアの方々に紙芝居や絵本などの読み聞かせをしていただきました。昨年度は1・2年生だけでしたが、今年度は3年生まで取組を広げ充実した時間となりました。

また月に一度の「おはなしのへや」では、昼休み図書室でパネルシアターなど楽しく読み聞かせをしていただきました。子どもたちは、この時間をとても楽しみにしています。

2学期に入ってすぐの環境整備支援の「ふれあい清掃」、地域や保護者の方々が、2学期を気持ち良くスタートできるように多数参加していただきました。特に今年は自治会の方々の参加も増え、昨年度以上の方に校内の木の剪定や除草作業をしていただきました。



また、今年も子どもたちの想像力を発揮し創作した「児童作品展」に地域のボランティアの方々が丸一日かけてオブジェを制作してくださいました。一人一人の個性が輝く作品を盛り上げ、作品展にふさわしい会場となりました。



その他、安全支援では、地域の交通安全ボランティアの方に朝早くから見守り活動をしていただいています。子どもの命と安全を守るため、寒い日も暑い日も毎朝立哨していただき、あいさつをかわし心がふれあうことで絆が深まっています。

### 今年度のまとめ

このように、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。その結果、子どもたちに自ら学ぶ楽しさを体感させ、確かな学力を身につけさせることができました。学級図書の充実、図書ボランティアの方の読み聞かせなどを通して読書活動が活発になり、読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てることもできました。また交通安全ボランティアの方々による見守り活動を通して、安心安全のもと、元気なあいさつを交わすなか、心のふれあいが広がっています。様々な活動について、昨年度同様にホームページの充実を図り、学校と地域の連携の様子を詳しく知らせることで、地域との連携をより多くの方に理解していただくことができました。

### 来年度に向けて

地域連携による子どもの育成をテーマとし、事業を推進してきました。地域の様々な場面で活躍されている方々の支援を受けながら交流を行い、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育むことができました。そして、地域との絆も深めることができました。今後、学校と地域の連携をさらに強化するために、コーディネーターやボランティアの方々と教職員との交流を深め、地域との輪が一層広がっていくようにしていきたいと考えています。

テーマ

**地域で育ち、地域に学び、地域とつながる二名っ子**

目標

人との出会いを大切にし、児童相互が励まし合い、思いやりの心をもって豊かな人間関係を築き、自らも地域の一員であるという意識を醸成する。

## 今年度の取組紹介

## 〈校区見回り・教育活動支援〉

毎週月・水・金曜日には、会員143名の「安全鳩」の皆さんが校区内の安全パトロールを行い、二名小学校児童の登下校の安全を見守っていただいています。その他、第2学年児童の「我が町探検」では探検の付き添いとして、第1学年児童の「昔遊び」ではまりつきや独楽回し、けん玉遊びなどの先生として学習活動を支援していただきました。交流が進むなかで、校区内で出会ったときに、児童が自分から挨拶したり積極的に声かけをしたりする場面も見受けられるようになりました。



昔遊びの一場面

## 〈体力向上事業 ふれあい交流〉

毎年、夏休みに実施している「水泳教室」の他、「二名小学校区スポーツ協会」と「にみょうきつずくらぶ」の連携により、「グラウンドゴルフ大会」や「歩こう会」、「ミニ運動会」を実施しました。参加者が増え、盛況になってきています。児童と地域の方々とのふれあいが、スポーツを楽しみながら親睦を深めることのできる貴重な機会となっています。



歩こう会

## 今年度のまとめ

- 図書ボランティアの方に読み聞かせや、図書室の環境整備をしていただき、児童は読書の楽しさをより一層味わうことができ、豊かな心と言語力を育てることができました。
- 「にみょうきつずくらぶ」や「スポーツ協会」等各種団体との連携、協力により、外遊びをする児童が増え、運動することの楽しさを感じながら体力向上を目指す取組ができました。
- 地域の方々とのふれあいの中で、見守られているという安心感、お世話になっていることへの感謝の気持ちを抱くようになり、児童自らがあいさつしたり話しかけたりするなど、本校児童の課題であるコミュニケーション能力の育成に効果をもたらしています。

## 来年度に向けて

- 学校の教育活動を支援していただいている各種団体や地域人材との連携を強化し、地域の力を活用できるようにするため、コーディネーターやボランティアの方々や教職員との交流を深めるとともに、校務分掌に担当教員を複数配置して、その取組を活性化させることが必要です。



**テーマ ふれあい・つながり・育ち合い笑顔あふれる幼稚園****目標** 認定こども園として新園舎でスタートするにあたり、幼児や保護者が互いに育ち合えるような環境づくりをする。

## 今年度の取組紹介

## 【環境整備事業】（花壇作り・絵本コーナー）

認定こども園として4月より開園し、クラス数は6クラスに増えた。また6月、新園舎完成、9月新園庭が完成し、新しい環境での保育がスタートしました。完成した新園舎、新園庭を保護者や地域の方とともに喜び、花壇をつくりました。

二名中学校のボランティア部に、花壇の土台づくりをしてもらったり、地域の方にレンガを使って花壇をつくっていただきました。作業の様子を見ていた子どもたちは、「できてきたね」「どんな花壇ができるのかな」と、期待しながら様子を見ていた。またできあがるとすぐに地域の方とともに、園児が土を運び入れたり、「そっと植えるんだよ」と教えてもらいながら、花苗植えをしたりした。そのことで、地域の方と一緒につくったという思いを強め、感謝や大切に  
する気持ちを持つことができました。

その他、玄関ホールにある絵本コーナーの整備を保護者ボランティアとともにに行い、お母さんのお話広場や地域の方のお話広場では、子どもたちが絵本に親しむ機会を持つことができました。



## 今年度のまとめ

- ・花壇づくり後に、二名中学生の職場体験があったり、園児がお礼の手紙を手渡す機会を持ったことで、地域の中学生とのかかわりを通して互いに親しみを持つ良い機会となりました。教師間の連携により、互いの育ち合いにつながる経験となりました。
- ・花壇作り、絵本コーナーなど、地域の方や保護者の協力を得て、子どもたちにとって魅力ある環境作りを進めることができました。様々な人とかかわることで自分から挨拶したり、地域の方の温かさを感じたりし、コミュニケーション力を高めることができ、人々とのふれあいやつながりにより幼児や保護者がともに育ち合える環境作りをすることができました。
- ・「お話広場」「わらべうたで遊ぼう」「リトミックで遊ぼう」「英語で遊ぼう」など、園の教育活動に地域の方の教育力を取り入れることで、子どもたちの活動の刺激となって、意欲的に遊ぶ姿につながり、豊かな経験ができました。

## 来年度に向けて

- ・子どもたちが、意欲的に活動できる環境の工夫が今後も必要であり、地域の方の知識や力を生かしながら、園庭の遊具作りなどを進めていきます。また、「お話広場」「リトミックで遊ぼう」「英語で遊ぼう」「わらべうたで遊ぼう」など、コーディネーターと連携し、継続することにより、互いに育ち合える機会となるようにしたいと思います。

テーマ

## 『二名大好き 奈良大好き』

目標

感動体験を通して、健康で豊かな心を育み、いきいきと表現する幼児を育てる。

今年度の取組紹介

&lt;カプラで遊ぼう&gt;

カプラのワークショップを開き、地域の方と一緒に「カプラ遊び」を体験しました。たくさんのカプラを使って、高く積む競争をしました。また、リズム室いっぱいに道路やビル・線路などをみんなで協力して作ったり、大きな「かまくら」に入ったりして楽しく遊びました。カプラ遊びを通して、子ども達は、創造力を膨らませ、満足感を味わう体験となりました。



&lt;お茶会&gt;

地域の方からお茶の点て方や作法を丁寧に教えていただきました。いつもと違う雰囲気の中で子ども達も真剣です。心地よい箏の音色の中、めずらしい箏に興味をもった子ども達は、「近くで見たい。」と言う気持ちが膨らみ、特別に“つめ”をつけ触れさせていただくこともでき、大満足でした。地域の方から、「上手にできたね。」「頑張ったね。」と褒めていただいたことで、自信をもつことができました。おもてなしの心や箏に触れたりして、昔から受け継ぐ、日本の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。



今年度のまとめ

人と関わる中で、豊かな感動体験を通して、幼児が生きる喜びを伝え合い、分かち合え、協力し合うことを学べるよう取り組むことができました。この豊かな学びを保障することで保護者自身の子育てに喜びを見いだしていくことにつながることができました。

そのためには、地域の教育力をいかした活動を取り入れ、自分から人やもの、ことに関わったりしながら遊び込み、感動体験を積み重ね、その中で、様々な人と関わり、自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりしながら、豊かな心を育み表現する楽しさを感じられるように育ってきています。

来年度に向けて

地域の様々な場面で活躍されている方々の支援を受けながら交流を行い、世代を超えて地域の方々と子育てについて話し合う場があればと考えています。幼稚園が交流の場となり、子育て支援を充実させていきたいと考えています。